

VIE-X07B/VIE-X07S

Mobile Media Station

取付説明書

目次

安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	4
2. GPS アンテナを取り付ける	7
3. フィルムアンテナを取り付ける	8
4. TUE-T1 用フィルムアンテナを取り付ける (VIE-X07B1/VIE-X07S1 ご購入の場合)	12
5. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける	16
6. リモコンホルダーを取り付ける	16
7. TUE-T1 を設置する (VIE-X07B1/VIE-X07S1 ご購入の場合)	16
8. 接続する	17
9. VIE-X07B/VIE-X07S 本体を取り付ける	27
10. 確認する	29
11. 接続状態を知る	30

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。





注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。
火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



アンテナは、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



禁止



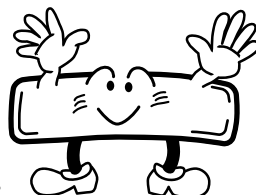
注意

- ハードディスク(HDD)は強磁界に弱い為、ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。HDD内のデータが消去される場合があります。
- 本機はインダッシュに取り付けてください。

1. はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
ディスクやSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。(27ページ参照)
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。



1 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

ナビゲーション取付用部品

サラネジ(M5×8)



×12

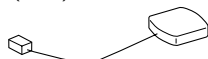
バインドネジ(M5×8)



×6

GPSアンテナ取付用部品

GPSアンテナ
(5m)



防水パッド
(GPSアンテナ用)



アンテナ取り付け
プレート



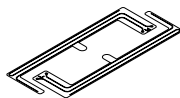
コードクランプ



×5

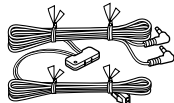
フィルムアンテナ取付用部品

フィルムアンテナ



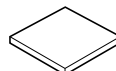
2枚1組

アンテナ入力コード
(アンテナコード左右：3.5m)
(電源用コード：3.5m)



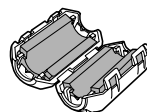
×2

フェライトシール用
スポンジ



×2

フェライト・コア



×2

クリーナー



樹脂クランプ



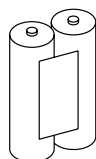
×6

リモコン取付用部品

リモコン



電池(単4)



タッピングネジ
(M3×12)

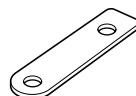


×2

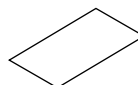
リモコンホルダー



両面テープ

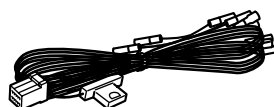


リモコン
操作シール

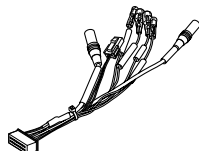


コード類・その他

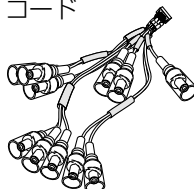
電源コード



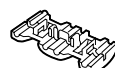
外部インターフェース
ケーブル



プリアウト/AUX
コード



圧着コネクター

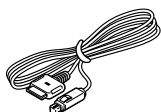


×3

ハンズフリー電話用
マイク(3.5m)



iPod接続用ケーブル
(2m)

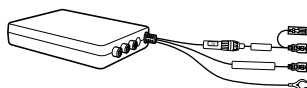


スポンジ

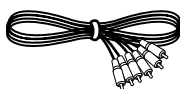


TUE-T1用部品(VIE-X07B1/VIE-X07S1ご購入の場合)

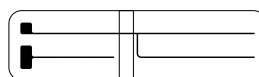
TUE-T1本体
(コード：各2.5m)



PIN接続コード(3m)



フィルムアンテナ(1枚)



アンテナコード(4m)



アーステープ(1枚)

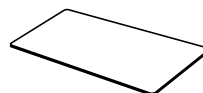


コードクランプ



×3

クリーナー(1枚)



2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー(エンジンキー)を抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。



Memo

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種(外国車など)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4 灰皿、小物入れなどを外し、パネル(インパネ)を外す。

5 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。

6 オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、「9.ナビゲーション本体を取り付ける」(27ページ)で利用します。)



Memo

- ナビゲーションの付けかえ等でGPSアンテナを取り外すときには、アンテナ取り付けプレートを忘れずにいっしょに取り外すようにしてください。
また、取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

2. GPS アンテナを取り付ける

〈ご注意〉

車種によっては熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスがあります。このガラスは電波を通しにくい性質がありますので、この場合は車外に取り付けることをおすすめします。また、スモークフィルムも電波を通しにくい性質があります。スモークフィルムをご使用の場合にも、車外に取り付けることをおすすめします。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。



Memo

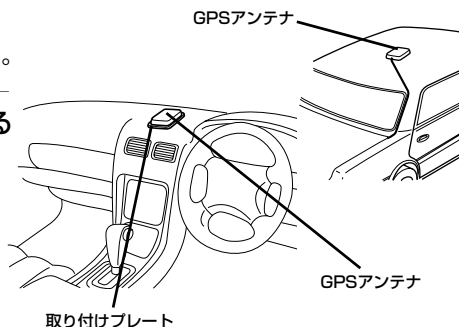
- アンテナの磁石は非常に強力です。車体に傷が付かないよう慎重に作業してください。また、磁気に弱いもの(磁気カード、時計など)には近づけないでください。
- アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- アンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- 洗車の際に、圧力がかかった水が直接アンテナにかからないようにしてください。アンテナ内部に水が侵入すると受信性能が落ちる場合があります。
- アンテナ取り付けプレートは、車内用です。車外には使用しないでください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- アンテナをダッシュボードに取り付ける場合は、TVアンテナケーブルとGPSアンテナが近くと(15cm以内)、GPSが受信出来ない場合があります。
- 別売のETCユニットやビーコンユニット等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーション本体とも50cm以上離して取り付けてください。

1 ● アンテナをルーフに取り付けるとき。

貼り付け面の汚れを落としてから、アンテナを貼り付ける。

● アンテナをダッシュボード・リアトレイに取り付けるとき。

- 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレートを貼り付ける。
- 取り付けプレートにアンテナを貼り付ける。
- なるべくガラス面に近い位置に取り付ける。



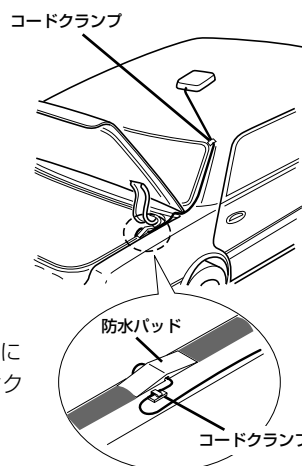
2 コードを固定する。

コードクランプでコードを固定する。防水パットの前後のコードをコードクランプで固定し、車の防水ゴムが接触する部分に、パッドを移動させる。



Memo

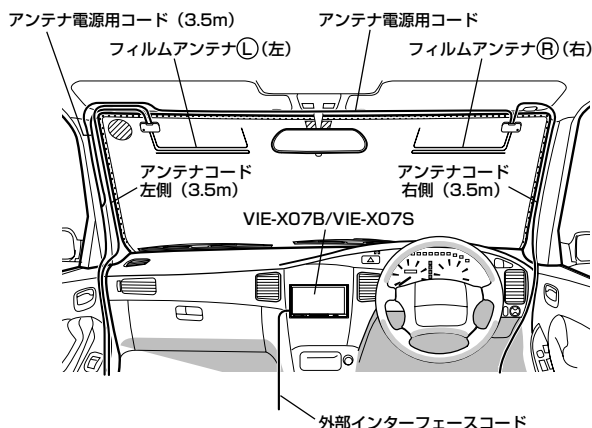
トランクの開閉で、防水パッドが移動しない様にコードクランプを固定してください。



※ 右図例のような車の場合、図のようにコードを固定すると、さらにトランク内部に水が入るのを防ぎます。

3. フィルムアンテナを取り付ける

〈車内からみた配線図例〉



警告

- 前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。
- コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

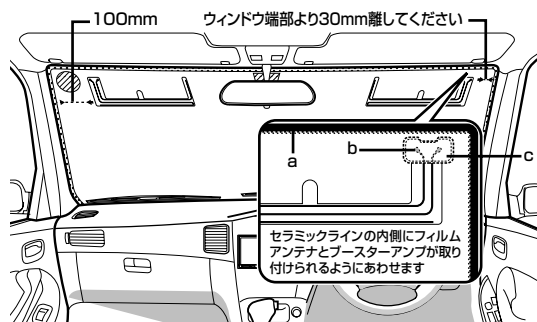
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めして、コードの長さが十分にあること、およびテレビ、ラジオにノイズが入らないことを確認してください。
- 本フィルムアンテナは、フロントガラス専用です。フロントガラス以外の場所には貼り付けないでください。
- フロントビラーにエアバックを搭載している車には、取り付けすることはできません。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。
- 車種によっては貼り付けられない場合があります。その場合はお買い上げの販売店にご相談してください。
- フロントウインドウにタテ50mm×ヨコ100mm(アンテナをタテ向きに貼る場合は、タテ100mm×ヨコ50mm)の1枚分のスペースが無い車には貼り付けることができません。
- フィルムアンテナの透明フィルムやアンプのウラシートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- ビラーにフロントエアバッグを搭載している車両には貼り付けることができません。
- 必ずフロントウインドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウインドウを暖めてから作業を行ってください。
- フロントウインドウにTVアンテナ・FM多重用フィルムアンテナ(別売)などをすでに貼り付けている場合は、各アンテナから10cm以上程度離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合はお買い上げの販売店にご相談してください。

1 フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する。

(フィルムアンテナの形状は、車両左側と車両右側で異なります。フィルムアンテナに「L」、「R」の印がついていますので、「L」は左側、「R」は右側に取り付けてください。)

1) フィルムアンテナの給電端子をセラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープで仮止める。

- ・「ブースターアンプをフィルムアンテナに取り付ける」(11ページ)を参考に、ブースターアンプがフロントガラス内におさまる位置にフィルムアンテナを仮止める。
- ・フィルムアンテナの端をフロントガラス端部より車両右側は30mm、車両左側は100mm程度離してください。



- a..... セラミックライン
b..... フィルムアンテナの給電端子
c..... ブースターアンプ

Memo

- 図の  部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けしないでください。
- 給電端子は、必ず指定範囲内に貼り付けてください。指定範囲外に貼り付けると、国土交通省が定める保安基準に適合しませんので、注意して貼り付けてください。

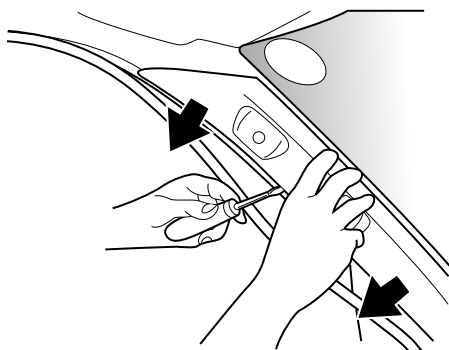
2) フィルムアンテナの左右の位置をセロハンテープ等でマーキングする。

2 アンテナコードを配線するために、内装部品(内張りなど)を取り外す。

※ ここではまだ配線しないでください。

1) フロントピラー(左右)を取り外す。

またフロントウィンドウ上側の車体面にて作業するため、必要に応じてマップライト、サンバイザー、天井の内張り等も外す。

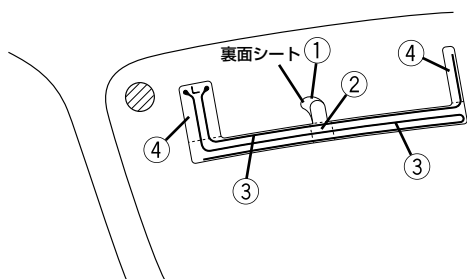


⚠ 注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。

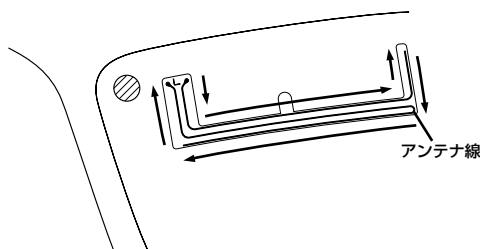
3 フィルムアンテナを貼り付ける。

- 1) 仮止めしたフィルムアンテナを取り外す。
- 2) フロントウィンドウの汚れ(ごみ・油など)やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとる。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
- 3) フィルムアンテナの裏面シート①をはがす。それから、②～④の順に裏面シートをはがしながら全体を貼り付ける。
 - ・ 裏面シートをはがすときは、アンテナ部分を強く折り曲げたりしないでください。アンテナ線が断線する恐れがあります。

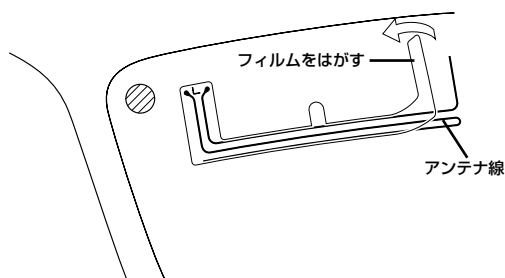


〈車両左側の取り付け例〉

- 4) アンテナをしっかりガラスに密着させる。
 - ・ フィルムの上から、下図矢印の方向にアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラ使用)。アンテナ線の無い部分は、あとではがしますので、強く押す必要はありません。



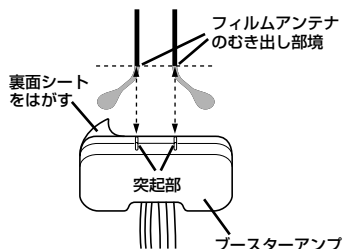
- 5) アンテナがガラスに定着していることを確認しながら、フィルムをゆっくりはがす。
 - ・ フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、フィルムを一度もとに戻してから、アンテナ線を中心に強く押し定着させてから再度はがしてください。



- 6) アンテナを柔らかい布などで上から押さえつける。
 - ・ 上から丁寧に押さえつけてください。
 - ・ 給電端子部分には、直接手で触れないでください。皮脂などの汚れが付着すると給電端子部分が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。
- 7) 反対側のフィルムアンテナも同様に貼りつける。

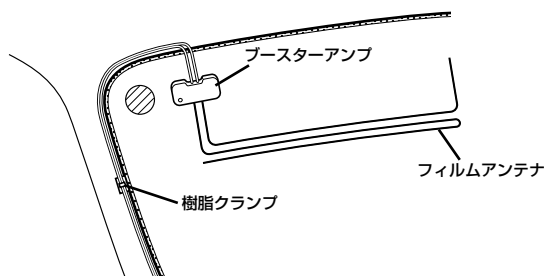
4 ブースターアンプをフィルムアンテナに取り付ける。

- 1) ブースターアンプの突起部を、フィルムアンテナのむき出し部(金属部)の境にあわせて貼り付ける。
 - ・ ブースターアンプには、左用と右用があります。
 - 右用 : アンテナプラグの1つが「VICS」端子になっています。
 - 左用 : アンテナ電源用コードの白端子が二股になっています。



5 コードを配線する。

- 1) アンテナコードを天井の内張りの中に配線する。
 - ・ アンテナコードは、車両左側、車両右側共に配線してください。
- 2) 必要に応じて、樹脂クランプでコードを固定しながらアンテナコードを配線する。
 - ・ アンテナコードは、他のコード類と一緒に束ねないでください。本来の性能が発揮できなくなります。



- 3) アンテナ電源用コードを外部インターフェースコードに接続する。
(「フィルムアンテナ接続図」(21ページ)を参照ください。)

VIE-X07B1/VIE-X07S1をご購入のお客様

「4. TUE-T1用フィルムアンテナを取り付ける(VIE-X07B1/VIE-X07S1をご購入の場合)」(12ページ)を参照して、デジタルチューナーのフィルムアンテナを取り付けてください。

6 配線および内装部品(内張など)を元に戻す。

- 1) アンテナコードのプラグ部をチューナーBOXへ接続する。(「フィルムアンテナ接続図」(21ページ)を参照ください。)
- 2) 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品(内張など)を元に戻す。

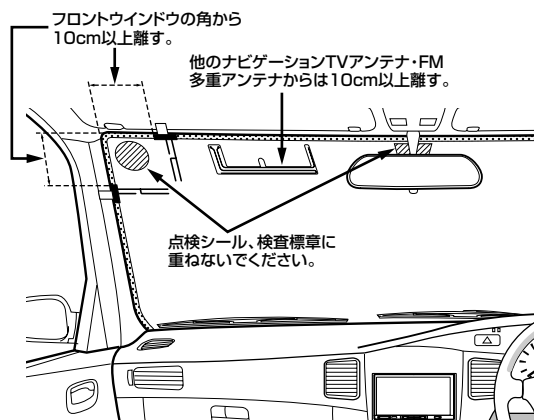
⚠ 注意

- 天井などの内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電端子は正しい位置に貼り付けしないと、端子のズレや浮きなどの原因になり、本機の性能が発揮できません。
- 給電端子に負担を掛けないように給電端子を手で押さえずにコードの配線を行ってください。

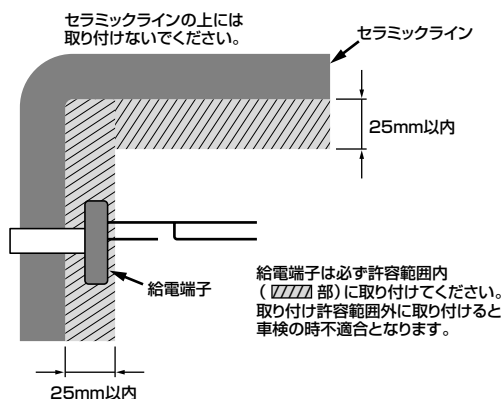
4. TUE-T1 用フィルムアンテナを取り付ける (VIE-X07B1/VIE-X07S1 ご購入の場合)

1 フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する。

〈車内からみたフィルムアンテナ配置例〉



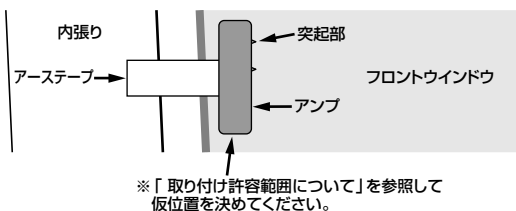
取り付け許容範囲について



- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために必ず「アンプ部の貼り付け許容範囲」の位置に貼り付けてください。アース部を車体の金属部に貼り付けてピラーなどの内張りでおさえるため、車体の金属部に届く範囲に貼り付けてください。また、許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せずに車検が通らなかったり、整備不良の対象となります。

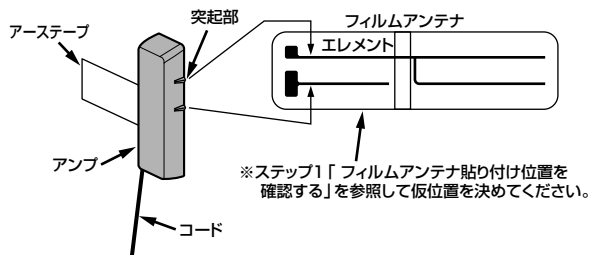
2 アンプの仮位置を決める。

フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張り(ピラー、ルーフライニングなど)にアンプが当たらないように仮位置を決めます。



3 フィルムの仮位置を決める。

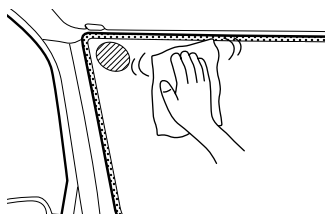
フィルムアンテナのエレメントとアンプカバー側面にある突起部が合うように仮位置を決めます。



4 コードを引き回す仮位置を決める。

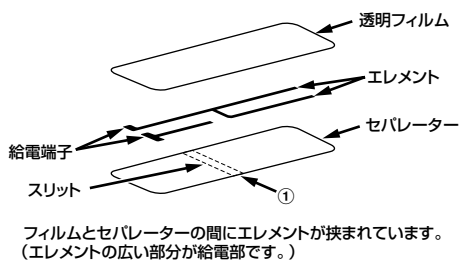
5 フロントウインドウ内側の汚れ、油などを取り除く。

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを付属のクリーナーで取り除いてください。

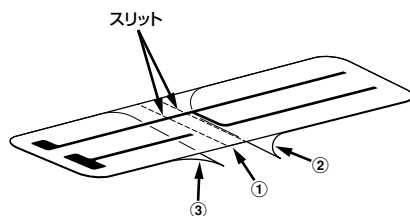


6 フィルムアンテナのセパレーターをはがす。

フィルムアンテナは3層に分かれています。スリットの入っている①部分のセパレーターをはがしてください。

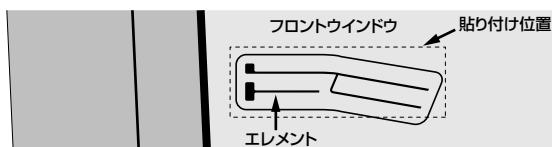


残りのセパレーター②の部分と③の部分をスリットからはがし、フロントウインドウに密着させてください。



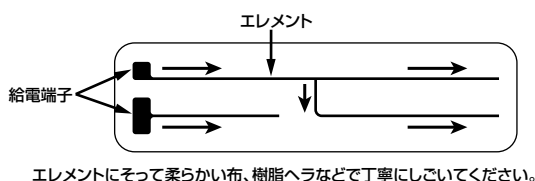
7 フィルムをフロントウインドウに貼り付ける。

フロントウインドウ面の貼り付け位置にフィルムアンテナを合わせて貼り付けます。その際、エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。



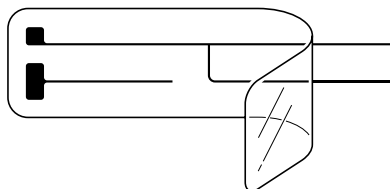
※必ず乾いたフロントウインドウに貼り付けてください。

※残った透明フィルムの給電端子とエレメント上から柔らかい布、樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてください。(加圧が不足すると透明フィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。)



8 フィルムをはがす。

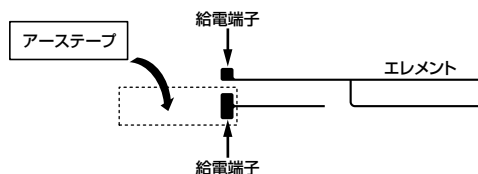
エレメントがフロントウインドウ面に貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧にフィルムをはがしていきます。



※エレメントがフィルムと一緒にはがれた場合は、フィルムを元に戻して再度エレメント上から柔らかい布、樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてください。

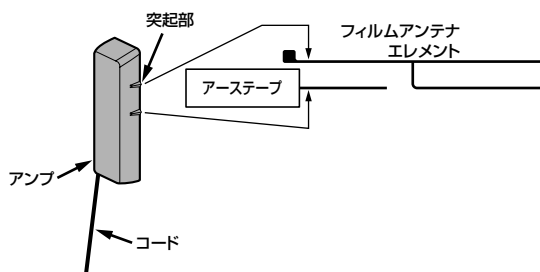
9 アース部の貼り付け

アーステープを下図のようにエレメント部分にある給電端子に合わせてください。



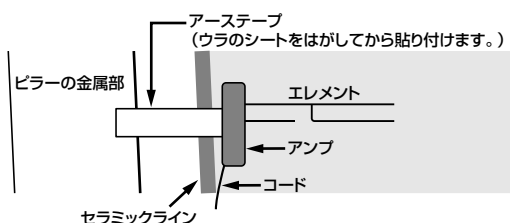
10 アンブをエレメントに貼り付ける。

フィルムアンテナのエレメントとアンブカバー側面にある突起部が合うように貼り付けます。



11 アース部を車の金属部に貼り付ける。

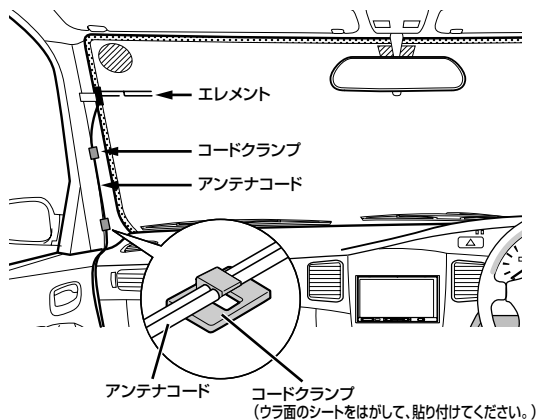
アーステープのウラにあるシートをはがしてピラーの金属部に貼り付けます。



12 コードを配線する。

コードクランプでアンテナコードを固定しながら配線し、アンテナコード類は運転操作の妨げとならないように配線してください。

〈車内からみたアンテナコード配線例〉



※安全な視界が確保できるようにアンテナコードを配線してください。

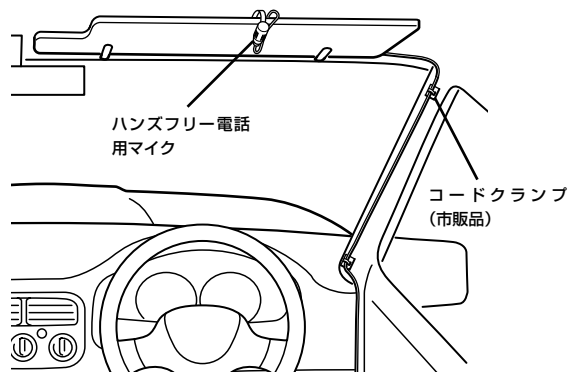
アンテナの配線が完了しましたら、「配線および内装部品(内張りなど)を元に戻す」(11ページ、ステップ6)を参照し、内装部品を元に戻してください。

5. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける

安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

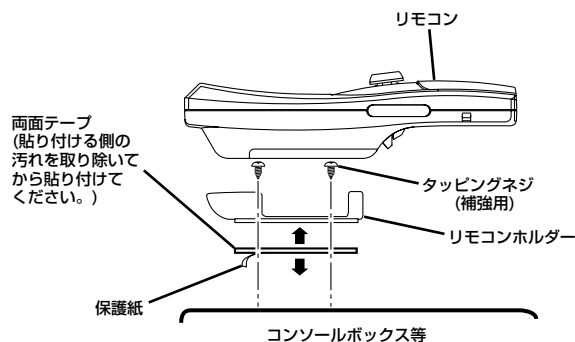
- 安定しているしっかりした場所。
- 運転したときに視界や運転操作の妨げにならない場所。
- ハンズフリー電話用マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所(サンバイザーなど)に取り付けてください。発話するときに、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。

1 ハンズフリー電話用のマイクを取り付ける。



6. リモコンホルダーを取り付ける

- リモコンに、直射日光が当たるときは、ホルダーから外してグローブボックスに保管してください。
- 両面テープで確実な取り付けができない場合は、ネジを使って取り付けてください。



警告

助手席エアバッグの近くにリモコンホルダーを取り付けない。

不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故やケガの原因になることがあります。

7. TUE-T1 を設置する (VIE-X07B1/VIE-X07S1 ご購入の場合)

TUE-T1本体取り付け上のご注意

- 水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。
- VIE-X07B1/VIE-X07S1にはTUE-T1を固定するネジ、マジックテープ、両面テープは付属しておりません。取り付け状況に応じて別途ご購入ください。
- ダッシュボードの上などの高温になる場所への設置は避けてください。
- エアコンの送風が直接あたる場所への設置は避けてください。
- 本機は助手席シート下への設置を推奨します。

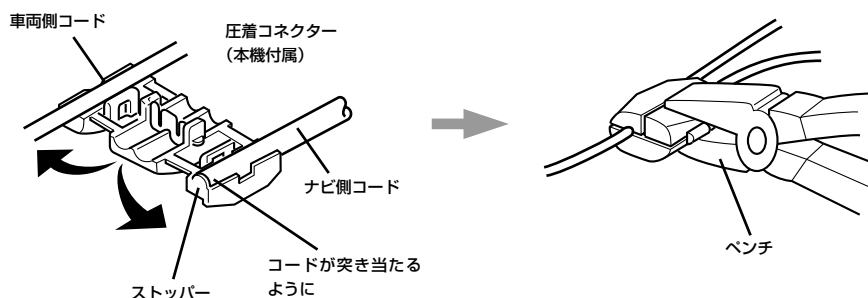
8. 接続する …… 接続することにより ☐ OK に✓点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 車両ハーネスを確認する。

必要に応じて圧着コネクタを装着する。



3 接続する。

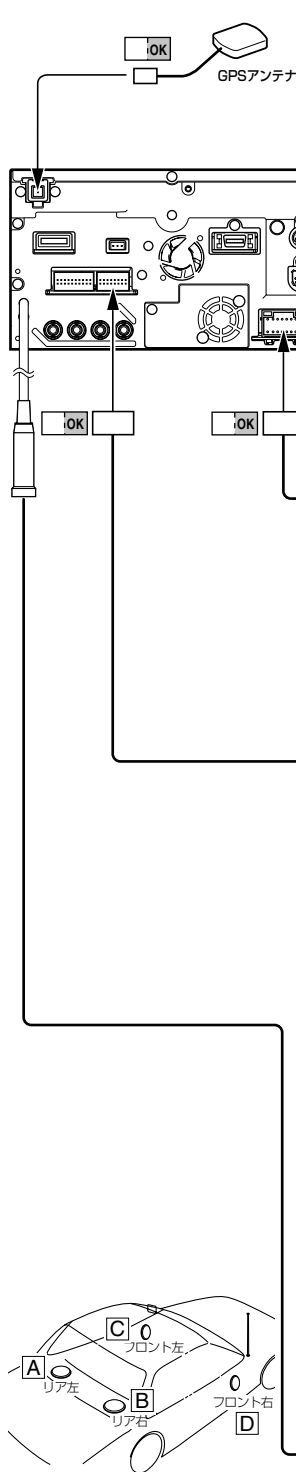


注意

正しい接続をする。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

● 基本接続図

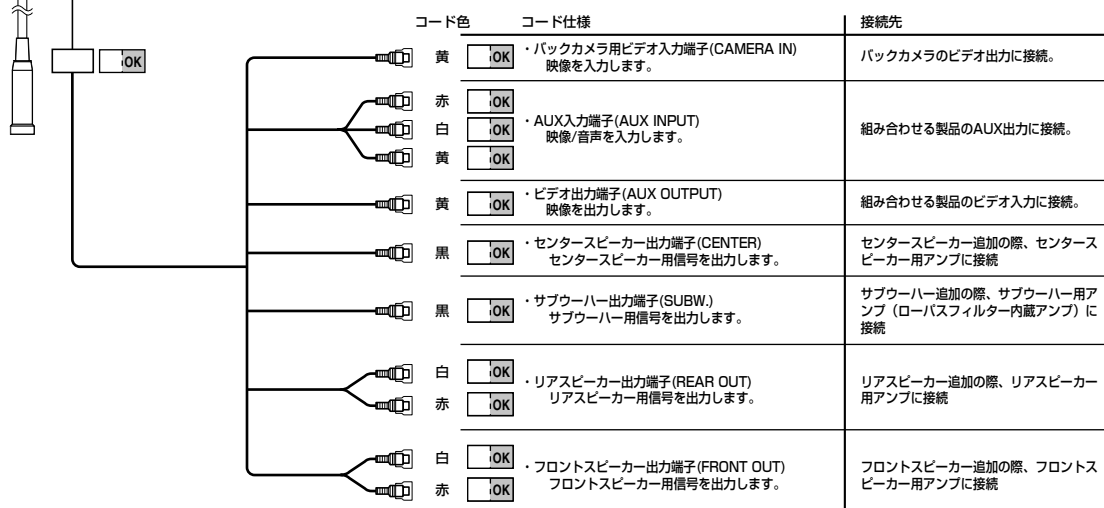
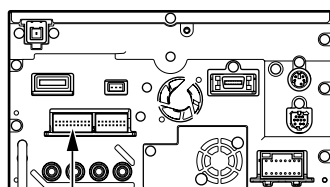


コード色	コード仕様	接続先
黄/青	・パーキングブレーキコード パーキング、ブレーキの状態を本機に伝えます。	パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチの電源側に必ず接続してください。不明な点は買い上げ店にご相談ください。
緑/白	・スピードセンサーコード 走行距離を計測するために車速バルスを利用します。	車速バルスコードは車種/年式によって違い、間違った接続は車に重大な影響(ブレーキが効かなくなるなど)を与えますので、販売店に問い合わせ確実に接続してください。(販売店での接続をお勧めします。)車速信号がとれない車は、別売の車速/バルス発生器(NVE-K300)をご使用ください。
橙/白	・リバースコード	車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。レバーのバック (R) に連動して、自車マークがバックするようになります。バックカメラ接続時には、シフトレバーのバック (R) に連動して、バックカメラの映像に自動的に切りかえます。
緑	・スピーカーコード (リア左) リア左スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2〜8Ωのものを使用してください。	リア左のスピーカーに接続 A
緑/黒	・スピーカーコード (リア右) リア右スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2〜8Ωのものを使用してください。	リア右のスピーカーに接続 B
紫	・スピーカーコード (フロント左) フロント左スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2〜8Ωのものを使用してください。	フロント左のスピーカーに接続 C
紫/黒	・スピーカーコード (フロント右) フロント右スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2〜8Ωのものを使用してください。	フロント右のスピーカーに接続 D
白	・リモートオンコード 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。	アンプなど追加の際に使用
青/白	・アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車のボディの金属部分に確実に接続してください。不十分だと雑音や誤動作の原因になります。
黒	・ACC電源コード エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が供給されるコードに接続
赤	・バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。通常、バッテリーコードの接続で十分ですが、さらに良い音で楽しみたいときは、直接車側のバッテリーに配線すると良いでしょう。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される (バッテリー電源 プラス) コードに接続
黄	・パワーアンテナ/プーサーコード ラジオのON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。また、ウインドウシールドアンテナなどプーサーが付いている車種はプーサー電源として使うことができます。(プーサーが付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が極端に悪くなります。)	車のパワーアンテナコードまたはアンテナプーサーに接続
青	・リモート入力コード リモコン信号を入力するためのコードです。	組み合わせるALPINE製品のリモート出力コードに接続。
茶	・リモート出力コード リモコン信号を出力するためのコードです。	組み合わせるALPINE製品のリモート入力コードに接続。
紫/白	・D-AREAコントロールコード 地上デジタルテレビの受信範囲情報、デジタルテレビチューナーから入力されます。	地上デジタルテレビチューナーのD-AREAコードに接続。(TUE-T300、TUE-T11には使用しません)
橙	・イルミネーションコード スモールランプなどのライトに連動して照光スイッチの明暗切りかえを行います。	車のスモールライトコードに接続
黒	・アンテナ電源コード フィルムアンテナに電源を供給します。	フィルムアンテナの電源コードと接続
黒/白	・マイク入力コード ハンズフリー電話を使用する場合に接続します。	ハンズフリー電話用マイクと接続
・ステアリングリモコンコード	車のステアリングリモコンで操作するときを使用します。	別売のリモートコントロール・インターフェース・ボックスと接続
・アンテナソケット	アンテナからの信号を受け取るコードです。	車のアンテナプラグに接続

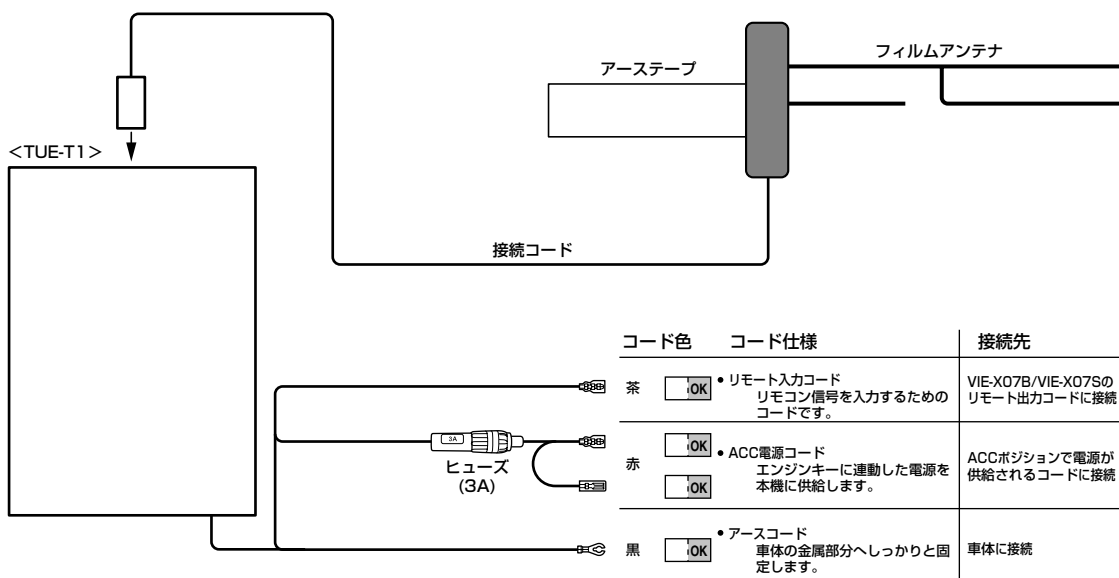
プリアウト/AUXコード ➡ 19ページ

フィルムアンテナの接続 ➡ 21ページ

ETCユニット、iPod、ビーコン(VICS)、携帯電話、ハンズフリー電話用マイクの接続 ➡ 22ページ



● TUE-T1 接続図(VIE-X07B1/VIE-X07S1ご購入の場合)



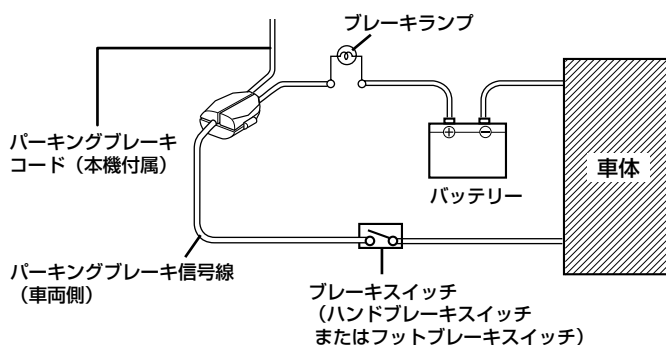
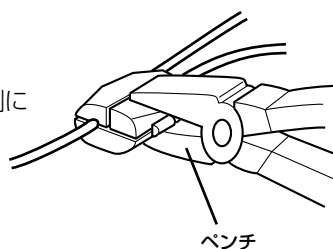
パーキングブレーキコードを接続する。

車両側のパーキングブレーキ信号線に、

パーキングブレーキコードを圧着コネクタを使用して接続する。

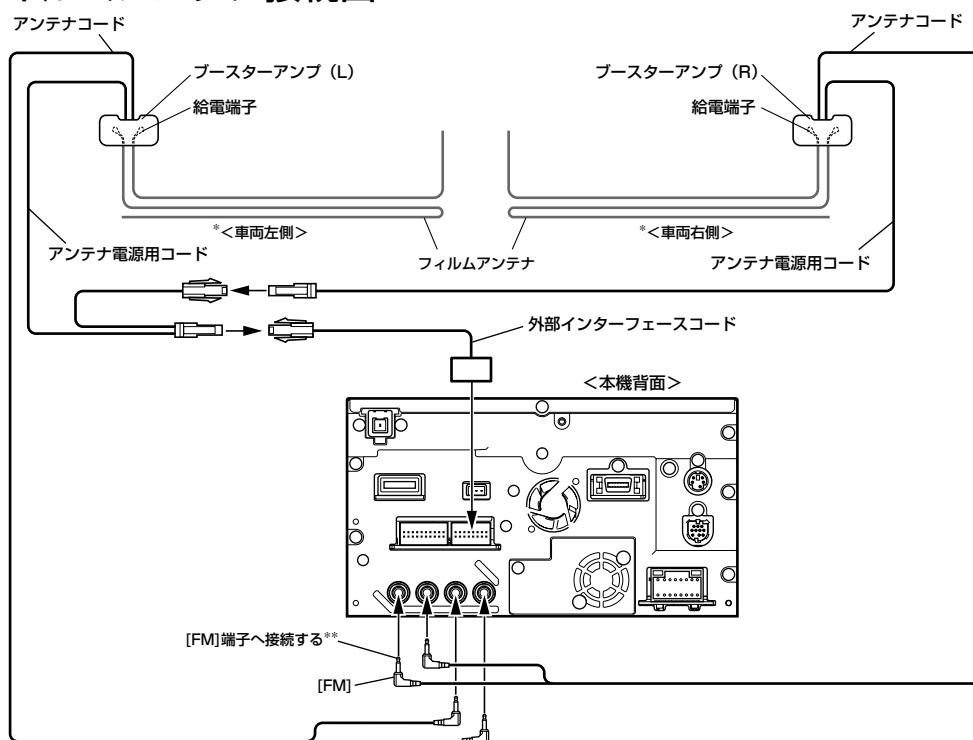
パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。

パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。



パーキング線が無い車の場合など不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

● フィルムアンテナ接続図



* 車内から見た左右位置になります。

** [FM] アンテナジャックを [FM] 端子に接続する場合は、「奥までしっかり差し込んで」ください。
差し込みがあまりい場合は、FM多重放送の受信ができません。

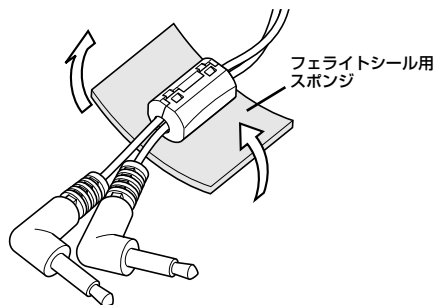
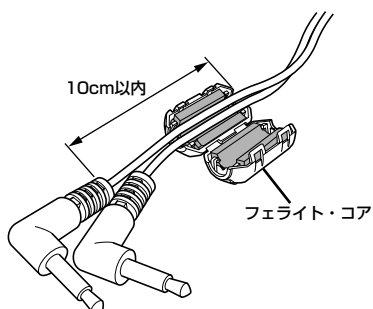
フェライトコアを装着する。

1) フィルムアンテナのコードにフェライトコアを装着する。

- ・ フェライトコアはアンテナジャックから10cm以内に装着してください。
- ・ アンテナケーブル2本につき、1個のフェライトコアを使用します。

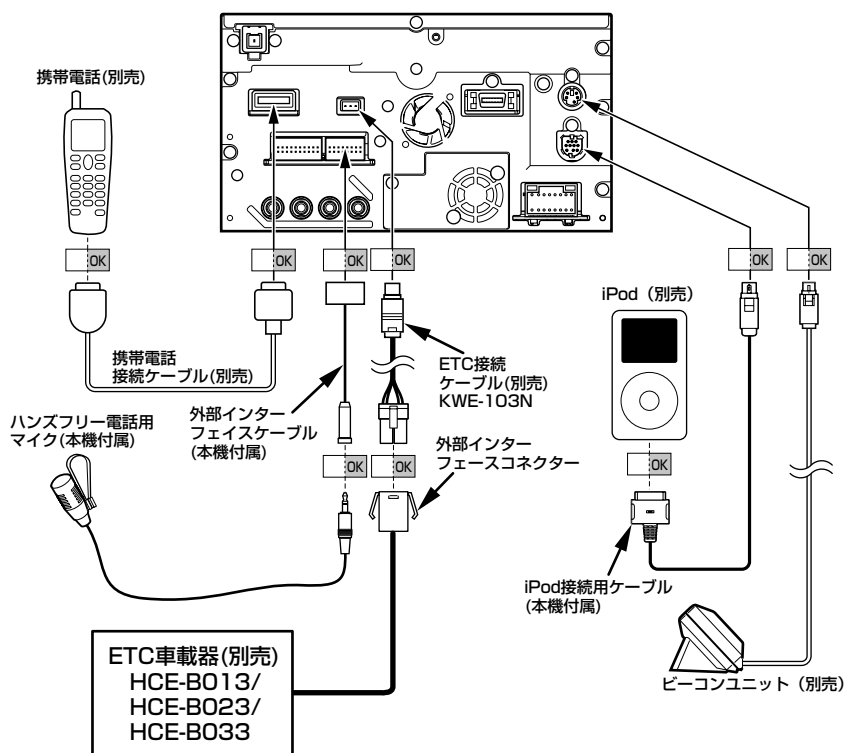
2) フェライトコアにフェライトシール用スポンジをまく。

- ・ フェライトシール用スポンジの保護シートをはがしてください。
- ・ 粘着面を内側にしてフェライトコアをフェライトシール用スポンジでまいてください。



- [FM]と標記されたアンテナジャック1本は、FM多重受信用として[FM]端子に接続し、残り3本のアンテナジャックは、TVチューナー用に使ってください。本機TVチューナーは、アンテナジャック3本でも十分な受信感度が確保されます。なお、[FM]標記しているアンテナジャックをTVチューナー端子へ接続しても問題はありません。
- TVアンテナコードはナビゲーション本体や他のコード類からなるべく離して配線してください。近づけたり、他のコード類と束ねたりするとノイズの原因になります。

● VIE-X07B/VIE-X07SとiPod、ビーコン(VICS)、ETCユニット、携帯電話、ハンズフリー電話用マイクの接続

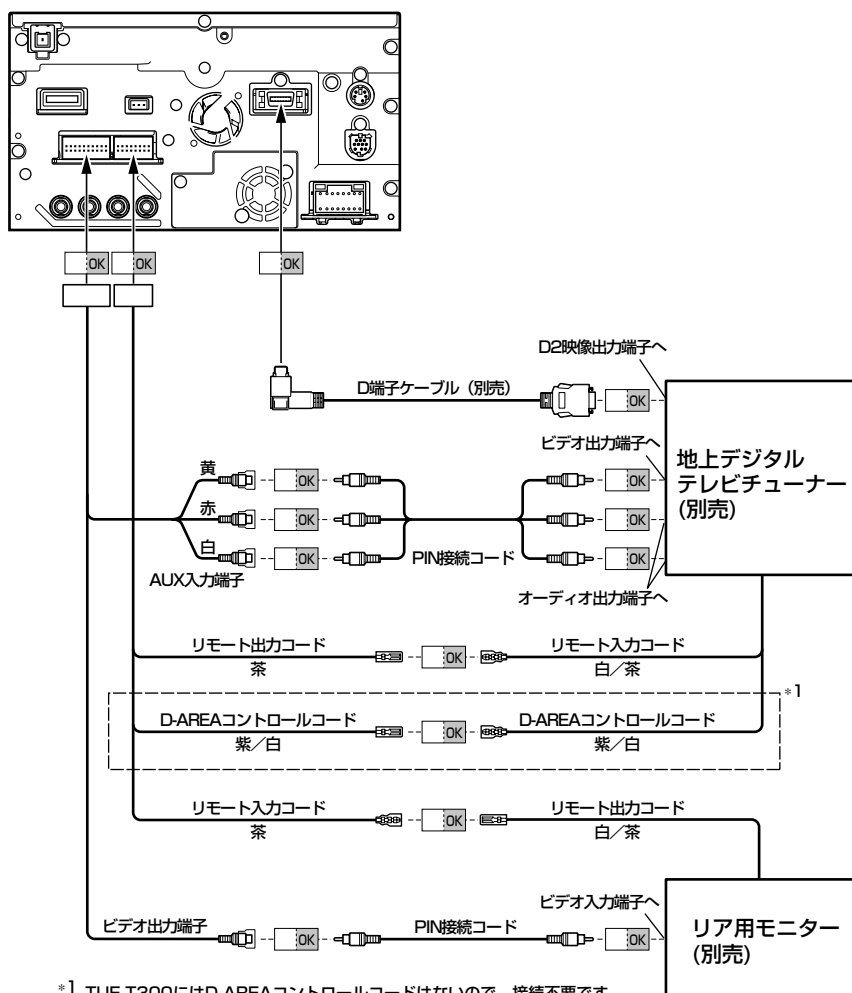


- 携帯電話の方式によって、使用する携帯電話接続ケーブル(別売)が異なります。

方式	接続ケーブル
cdmaOne/CDMA 1x	HCE-B014
CDMA 1x WIN	HCE-B015
FOMA	HCE-B016
PDC	HCE-B017

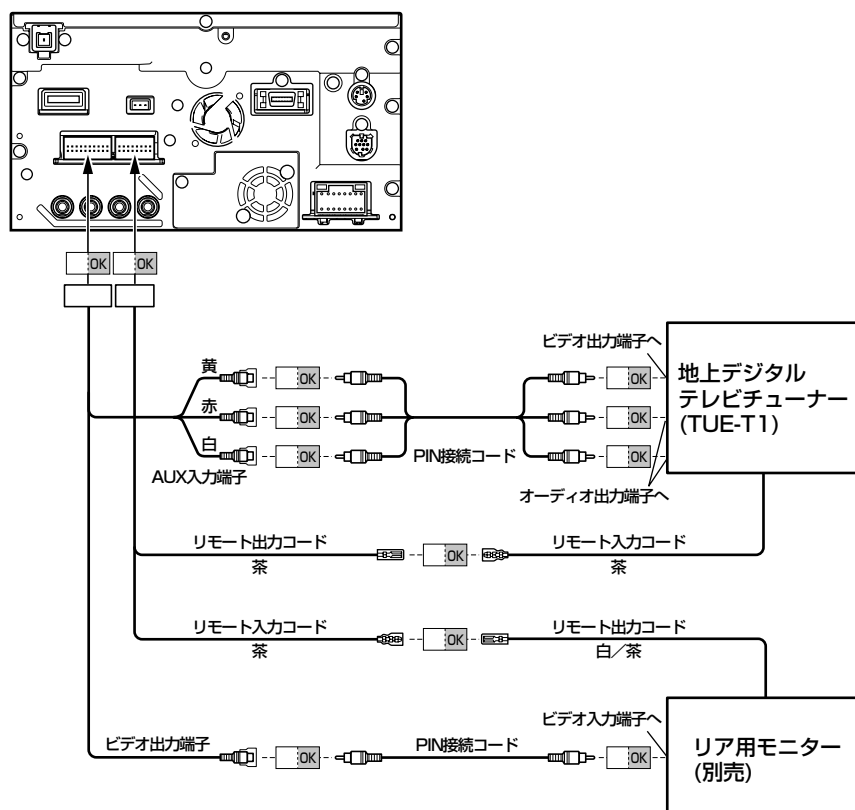
- Bluetooth対応携帯電話と接続する場合は、携帯電話接続ケーブルは不要です。
- 携帯電話を本機に接続しても充電されません。十分に充電した携帯電話をご使用ください。
- 接続可能な携帯電話の機種については、弊社カタログ、ホームページ
<<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- ハンズフリー電話を使用する場合は、ハンズフリー電話用マイクを接続してください。
- ビーコンユニット・HCE-TO22S/HCE-TO32/HCE-TO52をご使用ください。
- 別売ETCユニット・HCE-B013/HCE-B023/HCE-B033を接続する際、専用の別売ETC接続ケーブル(KWE-103N)が必要です。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● VIE-X07B/VIE-X07Sと別売地上デジタルチューナー、リアモニターの接続



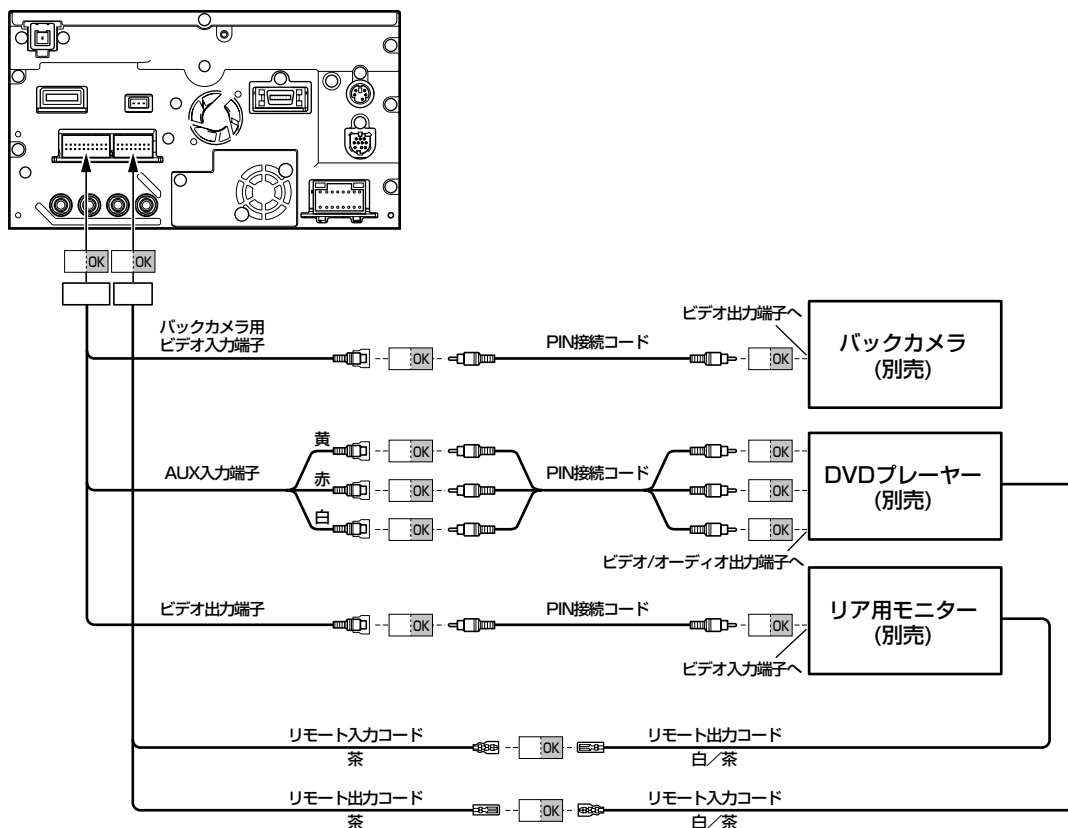
● 詳しい接続に関しては、接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

● VIE-X07B/VIE-X07Sと地上デジタルチューナー(TUE-T1)、 リアモニターの接続



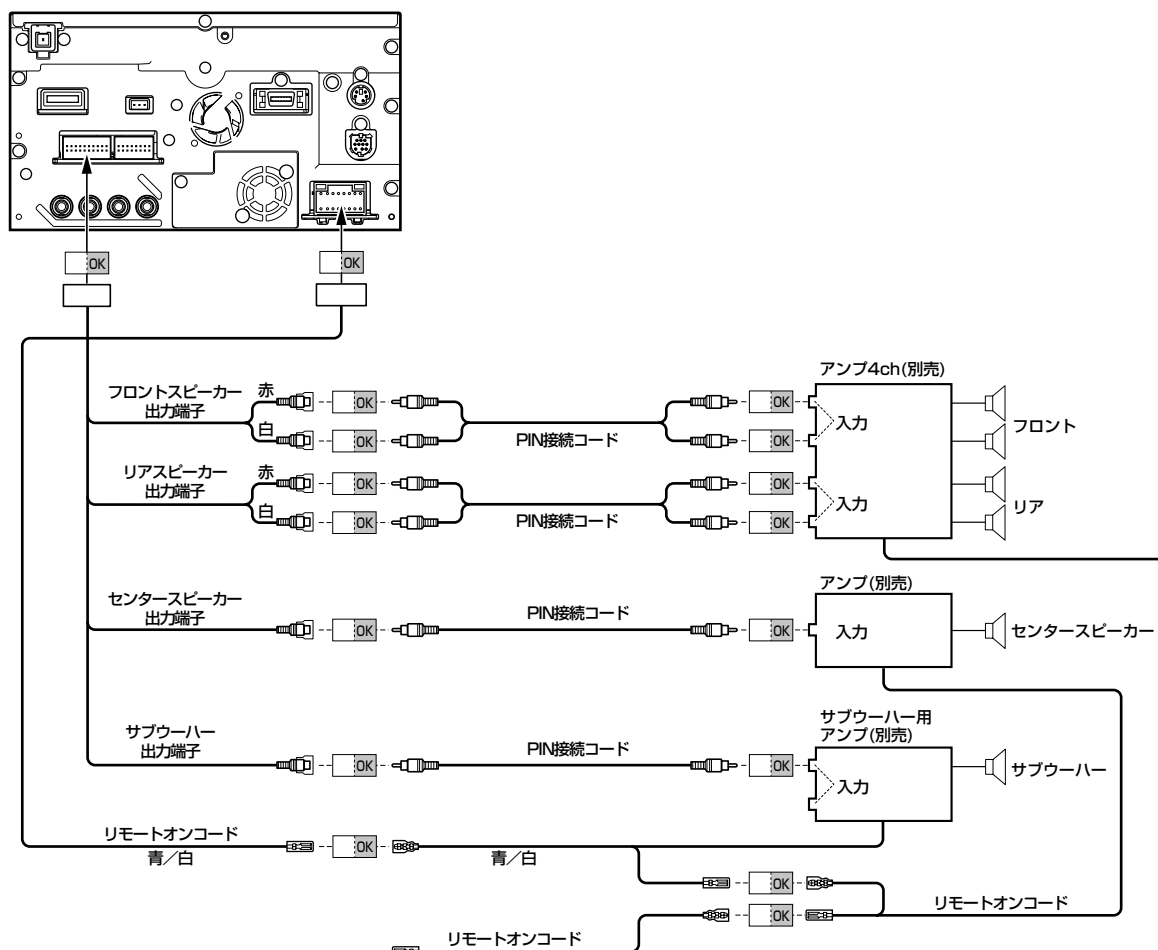
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 地上デジタルテレビチューナー(TUE-T1)は、VIE-X07B1/VIE-X07S1ご購入の場合に同梱しています。
- 地上デジタルテレビチューナー(TUE-T1)とVIE-X07B/VIE-X07S本体との接続にD2映像端子は使用できません。

● VIE-X07B/VIE-X07Sとバックカメラ、リアモニター、DVDプレーヤーの接続



- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

● VIE-X07B/VIE-X07Sと外部アンプの接続



- 取扱説明書「スピーカーを設定する」を参照してください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

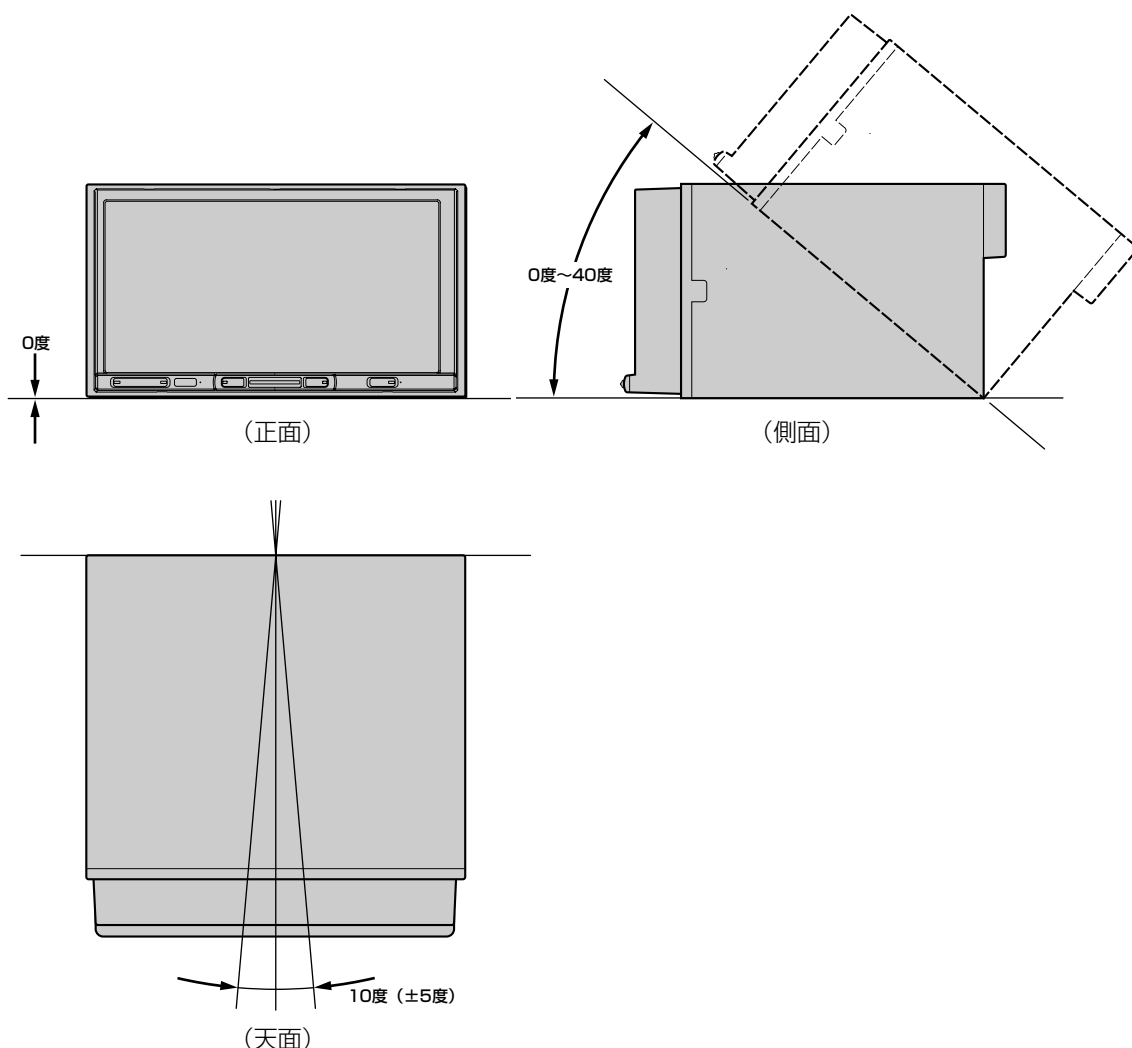
9. VIE-X07B/VIE-X07S本体を取り付ける

VIE-X07B/VIE-X07S本体取り付け上のご注意

- HDDは強磁界に弱い為、データが消去される場合があります。VIE-X07B/VIE-X07S本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。
- 車内の温度が低い(0℃以下) 場合ではHDDが正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- HDDは精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、VIE-X07B/VIE-X07S本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。

<VIE-X07B/VIE-X07S本体の取り付け角度>

- 本機取り付け角度は、下記の角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、HDDの故障の原因となります。

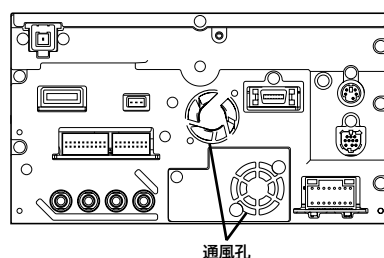


⚠ 注意

通風孔や放熱版をふさがない。

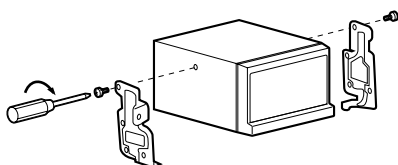
通風孔・放熱版をふさがないでください。

通風孔・放熱版をふさぐと内部に熱がこもり、
火災・故障の原因になります。



1 ディスクまたはSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

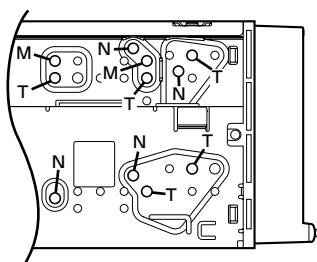
2 VIE-X07B/VIE-X07S本体にブラケットを付属のサラネジ(M4×3)でしっかり取り付ける。



Memo

付属のサラネジ(M4×3)以外で製品を固定した場合は動作不良の原因になります。
必ず、付属のサラネジ(M4×3)を使用して取り付けてください。

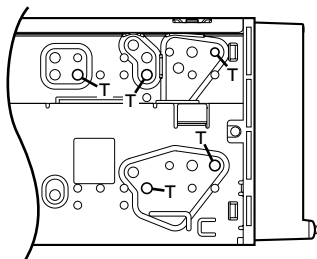
取り付け用ネジ穴



N 穴 → ニッサン車専用
T 穴 → トヨタ・三菱車専用
M 穴 → マツダ車専用

● トヨタ車に取り付ける場合

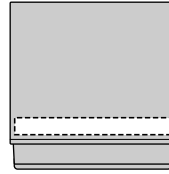
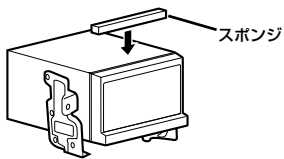
本機はノーズ部分を奥にオフセットさせて取り付けることができます。
その場合は下記のネジ穴を使用してください。



Memo

お取り付け車種によっては、奥行き不足または車両側のパネルに接触することがあるため上記取り付けができない場合があります。

3 「ブラケットと一体化になったナビゲーション本体」を車両にしっかり取り付ける。



点線枠を目安にして
スポンジを貼り付けてください。



車両側の取り付けスペースとVIE-X07B/VIE-X07S本体上部の間に隙間ができる場合は、図を参考にして、付属のスポンジを取り付けてください。

4 パネル(インパネ)を取り付ける。



車両雑音から守るために

- アースコードを車体の金属部分に確実ににつなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

10. 確認する

1 コード類を固定する。

シートレールなどの可動部などに挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

3 イグニッションキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

11. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、ナビゲーションの動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 **MENU/PWR** スイッチを押した後、**ナビメニュー** にタッチします。



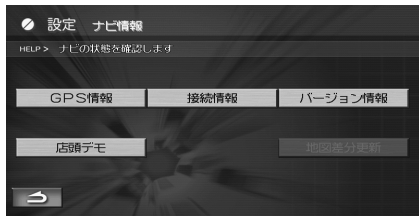
2 **設定を変える** にタッチします。



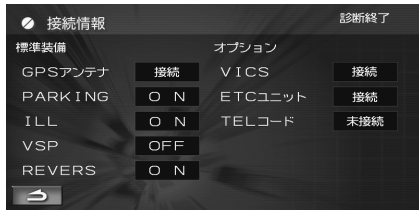
3 **ナビ情報** にタッチします。



4 接続情報 にタッチします。



接続情報画面が表示されます。



● 電源コードについて

基本接続図(18ページ)を参照してください。

- ・ PARKING : パーキングブレーキコード
- ・ ILL : イルミネーションコード
- ・ VSP : スピードセンサーコード
- ・ REVERS : リバースコード

5 POS. スイッチを押して現在地画面に戻します。

- ・  にタッチすると、一つ前の画面に戻ります。



- VSP(車速)は、停車時など車速が入っていない時はOFFと表示されます。

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 9:30～17:30(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができます。どうぞご活用ください。
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (Y-675)
68-06194Z49-A